

宜野湾市立博物館では、6月～8月にかけて中堅教諭等資質向上研修・学芸員実習・職場体験の受入を行いました。皆さんの感想を紹介します。

### 中堅教諭等資質向上研修(8/8～8/9) 上原綾乃先生 (普天間中学校)

この度、中堅教諭等資質向上研修として二日間宜野湾市立博物館で仕事を体験させていただきました。短い期間ではありましたが、こども博物館教室で蝶のりんぷんとセミの抜け殻標本作りを行ったり、アルバム辞典を制作することで展示物の多様な視点や解釈について考えを深めたりと大変充実したものとなりました。また保管室や倉庫なども見せていただき、宜野湾市には本当に多くの文化財や資料が厳重な管理の下、大切に残されていることも知りました。博物館の仕事は幅広く、多岐にわたっていることも分かり、そのような多忙な中で私の研修にお時間を割いていただき感謝申し上げます。

中学校の利用が小学校と比較して少ないというお話も聞きましたので、学校としてどのような取り組みができるのか検討し、中学生と博物館の関わりを増やしていけたらと考えています。この二日間本当にありがとうございました。

後ろは僕たちが制作したミニ企画展です



### 学芸員実習(8/6～8/20)

学芸員実習は将来の学芸員(博物館で働く専門職)を目指す学生さん達が取り組む実習ですので、結構本格的です。開館・閉館のチェックや常設展示に関する研究発表や、わらば～体験じゅくのお手伝いなど12日間一生懸命取り組みました。盛りだくさんの内容で忙しかったとは思いますが、その分充実した実習期間になったのではないのでしょうか。



実習に来ることで博物館業務のきつさを身に染みて感じる事ができた。それと同時に楽しさであったり、やりがいだったりと見つけることができ、楽しく終わることのできた実習でした。

石塚雅章さん(琉球大学)

教育普及活動への参加や資料の説明、展示の企画作成等たくさんの学芸業務に携わり貴重な体験をすることができました。精神的にも肉体的にも成長を感じる事のできた二週間でした。ありがとうございました。

屋富祖泰志さん(琉球大学)

今回の実習で、私の中の学芸員のイメージがガラリと変わりました。資料の扱いや管理だけでなく、体験教室や市民講座など様々な人と関わる仕事が多くコミュニケーションの面でもとても勉強になりました。

荒井南美さん(県立芸術大学)

今回の実習で様々な博物館業務を体験し、学芸員には色々なことをマルチにこなしていく能力が必要なのだと実感しました。

比嘉奈々恵さん(沖縄国際大学)

実習の要でもある実習生全員で作るミニ企画展は、それぞれ分担しながら、皆で力を合わせて作ったので楽しくできました。

平安山大地さん(沖縄国際大学)



### キャリアスタートウィーク(6/27～6/28)

今年は宜野湾中学校から4名の生徒が職場体験にやってきました。



仲本 永和さん  
最初どんな仕事があるのかなと思いつつ行きました。セミ抜け殻集めやちょうを捕まえたり、ディサーブの人達の補助や案内などをしたり。天然記念物のカメラのお世話もあり楽しかったです。

上原 憂大さん  
職場体験で宜野湾市の歴史や改めて戦争はどのようなことなのか考えることができ、接客や企画展の案内発送の準備など、とても勉強になる良い体験になりました。作業など丁寧に教えていただきました。お客様に接客するのは大変でしたが、楽しく充実した二日間でした。

佐喜眞 旭飛さん  
博物館での仕事は座ってやる仕事ばかりなのかと思っていたのですが、ほとんど立って働いて少しきつかったです。でも、喜んでくれる人がいたので頑張ってたかなどやりがいを感じた面もありました。この二日間で頭に入らないくらいたくさんのことを知りました、とても良い経験になりました。

石垣 智之さん  
特に縄文時代、沖縄戦当時について勉強させてもらい、仕事の手伝いもたくさんさせてもらいとても意義のある職場体験になりました。自分達が見た職場が全てではなくて裏でなにかとやっているんだなあと改めて「働く」ということがどんなことなのかを深く勉強させてもらいました。



慰霊の日写真パネル展  
～沖縄戦中の宜野湾～の  
説明を受ける様子

# はくぶつかんネット No.63

平成30年度 7～11月号 発行:宜野湾市立博物館 宜野湾市真志喜1-25-1

## 夏の企画展 大昆虫展 ～小さな虫たちの大きな世界～

7月18日(水)～9月30日(日)



昆虫類は、地球上でもっとも繁栄した動物といわれ、知られているだけでも現在100万種を超え、未知の種類を含めるとその二倍から五倍の種類数になるといわれています。私たちの身近にいる昆虫たちが、本当はこんな力を秘めている、魅力的な生きものであることを知っていただきたくて「大」という文字をキーワードにして、色々な角度から昆虫を紹介しました。



多くの皆さまのご来館ありがとうございました!!



来館者 3500人 突破セレモニー

来館者 6464人 突破セレモニー



3500人目のご家族に記念品を贈呈しました。



ムシにちなんで6464人目のご家族に記念品を贈呈しました。最終的には、8515人の方々に足を運んでいただきました。

### 見学の様子



今回の企画展は琉球大学博物館風樹館との共催で実施いたしました。開催にあたり、風樹館、県立博物館、美術館、沖縄科学技術大学院大学、新垣養蜂園、県博物館協会より多大なるご協力をいただきました。たいへん見応えのある企画展となりました。





# 第27回 ぎのわんの文化財図画作品展表彰式



受賞おめでとうございます

当館では10月6日(土)から10月21日(日)まで、第27回ぎのわんの文化財作品展を開催しました。市内の小学校3年生から中学校3年生を対象に、宜野湾市の文化財に親しみをもち、そのことを目的に毎年開催しています。今年度は、小中合わせて193点の応募がありました。

10月6日(土)には、小学校中学年(3・4年生)の部、小学校高学年(5・6年生)の部、中学生の部のそれぞれの部門ごとに教育長賞、金賞、銀賞、銅賞に選ばれた作品の表彰式が行われ、知念春美教育長から表彰状と副賞が手渡されました。

## 表彰式の様子



## 沖縄県地域史協議会 第2回研修会 IN 読谷村

11月9日に読谷村で沖縄県地域史協議会の第2回研修会が行われました。県内各市町村で地域史を編さんする関係機関の研修会では「市町村史の編さん後の事業展開」をテーマに行われました。

午前中は読谷村の喜名と瀬名波集落の2カ所を二手に分かれて巡見しました。瀬名波では集落出身の方より当時の様子について説明を受け、また戦時中に使われた「イエヌガマ」などを見学しました。喜名では嘉手納弾薬庫付近の黙認耕作地に残る拝所や屋敷跡など、集落跡を見学しました。その後、今年6月にオープンした世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムの見学を行いました。

午後には読谷村文化センター(中ホール)にて講演と報告会が行われました。読谷村や沖縄市、那覇市から報告があり、地域史編さんで収集した史料や情報を市史という刊行物だけでなく、地域毎に紹介したガイドマップや説明板、博物館での展示、情報センターの基礎データなど、幅広く活用されていることを改めて実感するとともに、これまで宜野湾市史の編集で培ってきた情報を、皆さまにどのように発信していくべきか、参考となる研修会でした。

市史というのは刊行して終わりではなく、市史を基に歴史文化の継承と地域理解を目的に、さまざまなかたちで普及活動を展開してきます。今後とも市民の皆さまからのご協力をお願いいたします。



読谷村瀬名波のイエヌガマ入口



読谷村喜名の屋敷跡のフル(豚小屋兼トイレ)



研修会の様子

## 博物館◎新規職員紹介



西田 愛華 (教育委員会文化課学芸係 学芸嘱託員)

みなさん、はじめまして！10月より市立博物館で勤務をしています。これまで、市町村の歴史や県内の指定文化財を紹介する本作りに携わってきましたが博物館で働くのは初めてで少しドキドキしています。カメラ片手に史跡などを巡り写真を撮ることが趣味なので、少しでも仕事に活かせたらと思っています。ちなみに、特技(?)は絵を描かせると破滅的な作品が出来上がること。自分ではヤギを描いたつもりが、周囲からは「琉球犬!」や「動物なの?」と言われたことも……。こんな私ですが、日々努力を怠らず、早く仕事に慣れて宜野湾市の魅力を発信できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします!

## 天女ちゃん4位入賞!

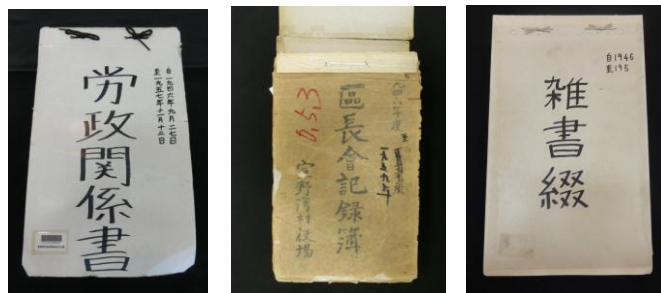
当博物館のイメージ・キャラクターである「天女ちゃん」が、全国の博物館キャラクターによる人気投票企画である「ミュージアム・キャラクター・アワード2018」にエントリーしました。9回目の開催となった今年は全国71の博物館のキャラクターがエントリーしました。

当館は今回が初めてのエントリーでしたが、天女ちゃんは大勢の方から応援を頂き、最終的に5,800票余りを得て4位に入賞することができました。天女ちゃんを通して当館、ひいては宜野湾市を全国にアピールする良い機会になりました。





市史だより  
がちまやあ  
**Gači-majaa**



紙でできた宝もの～宜野湾の歴史公文書～

宜野湾市では保存年限の切れた公文書の中から歴史的・文化的価値を有する公文書を整理・保存しています。今回の「がちまやあ」では、歴史公文書について紹介します。

公文書って何？



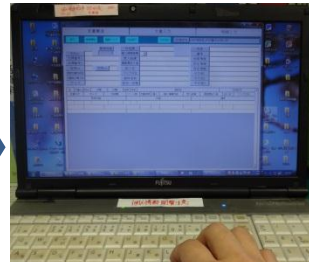
公文書(こうぶんしょ)とは、国や県、市町村などの行政機関が作った文書の事です。少し難しい話になりますが、民主主義では、本来は国民が国の事を決める事になっています。(市役所などの行政機関は、それを代理として行っているだけなのです。)そのため、例えば宜野湾市の場合、市が行っていることを市民に説明する責任があります。そのための資料として公文書を作成しているのです。  
宜野湾の過去から現在まで詰まっている公文書。人に例えると生まれてから今までの「記憶」と同じものだと言えます。

宜野湾市には、戦後すぐの時期(1946年～1972年)に作成された古い文書が残っています。他市町村にはこのような文書はほとんどなく、宜野湾市の貴重な財産です。

●歴史公文書保存作業の流れ



破れや傷みがないかチェックし、道具を使い金具などを取り外します。



長さ・幅・高さを測り、文書の年代や文書件数、内容などを調べ、データベースへ入力します。

組み立て式の文書保存箱です。弱アルカリの段ボールを使用し、強度は一般の段ボール箱の2～3倍です。

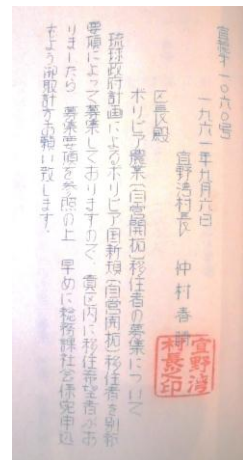


一簿冊ずつ包み、箱に詰めます特別収蔵庫に保管します。



特別収蔵庫に保管されている公文書。

●例えば、歴史公文書では、こういったことが分かるよ



一九六一年九月六日  
ポリアビヤ農業(自営開拓)移住者の募集について  
琉球政府計画によるポリアビヤ新規(自営開拓)移住者を別紙要項によって募集しておりますので、貴区内に移住希望者がある場合は、速にお知らせください。早めにご応募をお願いします。

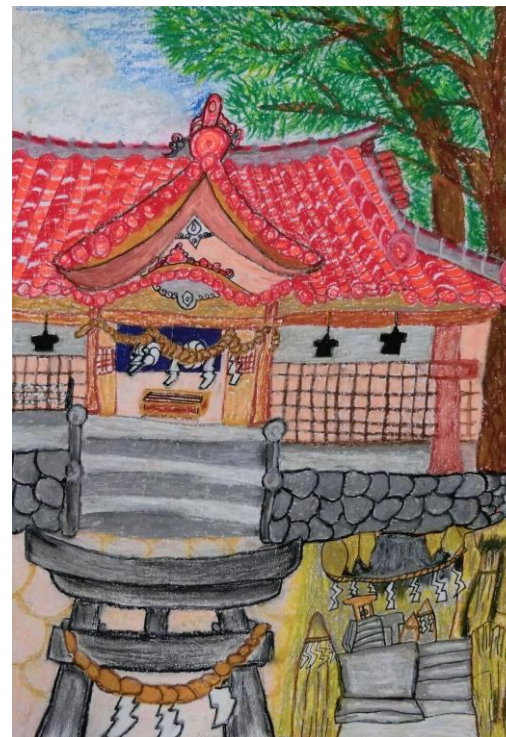
何で歴史公文書を保存するの？

- ①市民に市が行っていることを説明するため
- ②歴史を知るための資料として
- ③市民の財産や権利を証明するため

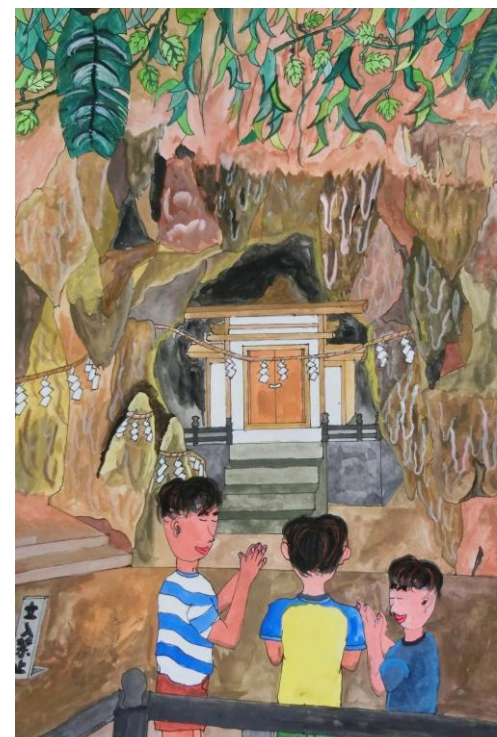
●分かったこと！

戦後、沖縄県が豊かではなく宜野湾村も村民の生活が困窮していたことが分かります。生きていく為、生活していく為、新たな土地を開拓していくという選択肢を県が政策として取らざるをえない状況であったことが分かります。

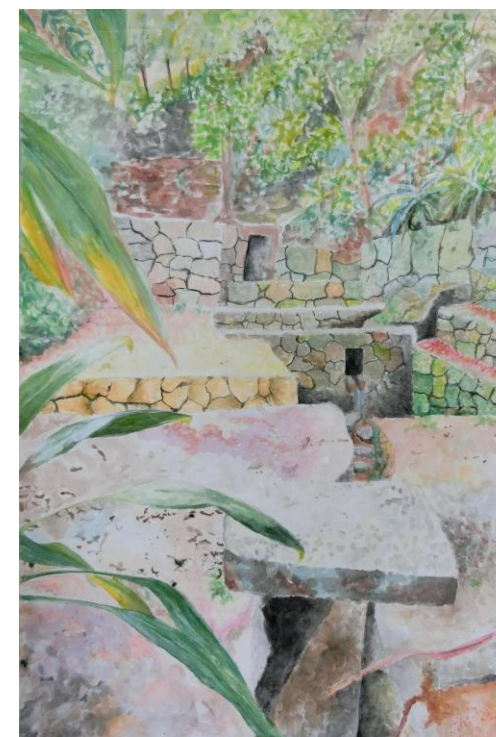
★ 教育長賞のご紹介 ★



小学校中学年の部  
宮城 百音  
(志真志小学校)



小学校高学年の部  
折田 悠世  
(はごろも小学校)



中学生の部  
土屋 結  
(普天間中学校)

今年度は小学校94点、中学校99点、計193点の応募がありました。中学年の部では、見ているこちらまで笑顔になってしまうような、笑顔あふれる楽しそうな作品が多いように感じました。どの作品も、文化財からイメージする人やものを伸び伸びと描き、それぞれの作者の思い描く「ぎのわんの文化財」がオリジナリティーにあふれていました。高学年の部では、文化財をよく観察して細かいところまで丁寧に描かれた作品が多くありました。奥行きや立体感を意識し、岩や植物の大きさを変えたり、同じ緑色でも、手前の太陽が当たる所は明るく、奥の方は暗くするなど、場面によって表現方法が工夫されているのを感じました。中学校の部では、「森の川」を中心に、有形文化財や史跡をテーマに描いた作品が多くありました。表現方法は例年に比べ幅があり、光を演出したり、タッチをペンで加えたり、燃えるような色彩を水辺に使ったりと作者の「思い」が感じられるような作品が多く、印象的でした。

来年も皆さんのたくさんの応募お待ちしております！







# こども博物館教室

夏休み期間中に3つの教室を行ったよ！  
その様子を伝えるよ！！

当館では、市内在住または小学校3年生～中学生の児童・生徒を対象に、夏休みを利用し学習の場として活用してもらうとともに、博物館活動が児童生徒の学習支援となることを目的に『こども博物館教室』を開催いたしました！

## 第1回：葉脈標本づくり

8月5日に葉脈標本作りを開催しました。「葉脈」は水分や養分を運ぶための通り道だよ。今回葉肉を取り除いて葉脈が分かりやすく「なるよう標本」にしてみました。



みんなで葉っぱを探しにいこう！

◎薬品(水酸化ナトリウム)を使って葉肉を取り除くよ！

①水を入れたナベに薬品を入れ葉を煮る



煮ると透明だった水が濃い緑色に変わっていくよ。

②少量の水を入れたバットに、煮た葉を入れ、歯ブラシで葉肉を取り除くよ



歯ブラシを使って、優しく取り除くようにして取り除くんだ。

完成



上手にできたよ！！

キレイな葉脈標本を作るには  
①きれいな葉  
②固くみどりが濃い葉を選んでね！！

ラミネートしたら完成だよ

## 第2回：チョウのりんぷんとセミのめけがら標本作り

◎りんぷん標本のつくりかたを簡単に紹介するよ

8月9日に標本作りを開催しました。



チョウとセミの抜け殻を探しに森川公園へ行ったケロ！！



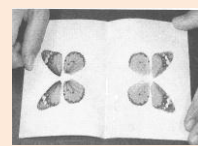
チョウのはねをつけ根の部分からきりとるよ



ロウをぬった紙にチョウのはねを並べる



スプーンを使い、はねの部分をごする



ゆっくり開けりんぷんがうつっているか確認



ロウをぬった紙にチョウのはねを並べます



はねがずれないようにラミネートします

★完成★



## 第3回：ソテツの葉で虫かごをつくろう

8月20日にソテツの葉で虫かごを作りました。

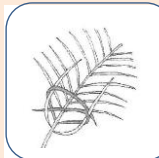


どのソテツの葉がいいかな

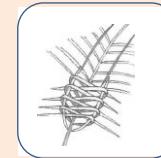
作り方ケロ



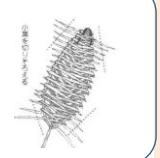
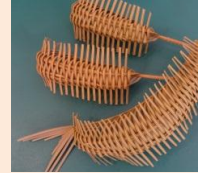
二本の小葉を中心に向けて曲げ、芯を作る。



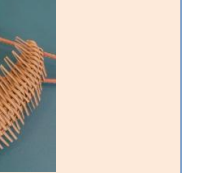
次の小葉を両側から交互にあんでいく。



最初と最後はすぼめるように、真ん中はふくらませるようにあむ。



芯を三本ぐらいつぎ足し、最後はおりがえす。



形を整えてできあがり。

ぎのわん教育月間関連行事

# 宜野湾探訪Ⅱ

## ～グスク時代の「宜野湾」～

10月31日(水)～12月2日(日)に、ぎのわん教育月間関連行事として『宜野湾探訪Ⅱ～グスク時代の「宜野湾」～』を開催しました。

『宜野湾探訪』は、昨年の4月にリニューアルした常設展示室のテーマをピックアップし、詳しく紹介する企画展で、昨年秋の企画展に続いて2回目の開催になります。

今回の『宜野湾探訪』は、主にグスク時代(11世紀～17世紀初頭)に焦点を当てた展示を行いました。グスク時代の「宜野湾」は、まだ浦添間切の一地域で、城郭としての大きなグスクもありませんが、実はグスク時代の幕を開ける重要な役割を担った地域でもありました。また、14世紀になると後に中山王となる察度が「宜野湾」から登場し、中国と進貢貿易を始めることで、琉球王国への地盤が固まり始めます。

このようなグスク時代の「宜野湾」を、その前史や後世にかけての変化を含めて、発掘調査の成果や史料などを基に紹介しました。そして、関連講座として3つの市民講座を開講し、好評を博して終了しました。ご来場いただき、誠にありがとうございました。



グスク時代の集落のジオラマ  
(伊佐前原第一遺跡の調査成果を基に復元)



展示の様子



11/11『グスクツアー』 喜友名グスクにて  
講師：上原 静(沖縄国際大学 教授)



10/14『グスク時代の農業と琉球石灰岩台地の宜野湾』  
講師：安里 進(沖縄県立芸術大学附属研究所 客員研究員)